

(一覧表の見方は、以下の凡例をご覧ください。)

学校名	建物名称	建築年月	構造・規模等			耐震基準	耐震化状況				備考
			構造	階数	面積		耐震診断(2次診断)		耐震化優先度調査		
							実施年	結果(Is値)	実施年	結果(ランク)	
	校舎	S46.3	RC	3階	1,824	旧	H19	0.37			
	校舎	H2.3	RC	2階	705	新					
	屋内運動場	S54.2	S	1階	1,168	旧			H19		

校舎等の完成年を表します。

校舎等の延べ床面積を

Is値とは、構造耐震指標のことで、建物の耐震性能を表す指標です。
Is値
0.3未満 大規模な地震に対し、建物の倒壊又は、崩壊の可能性が高い。
0.3以上0.7未満 大規模な地震に対し、建物の倒壊又は、崩壊の危険性がある。
0.7以上 大規模な地震に対し、建物の倒壊又は、崩壊の可能性が低い。
学校施設については、耐震診断の結果、Is値0.7未満の建物が耐震補強工事の対象となります。

耐震化優先度調査については、耐震診断を行うための順位をランク付けする調査です。
数字の低い順から耐震診断を実施し、適切な措置を講じる必要

「校舎」 1年1組などの普通教室、図工室や音楽室などの特別教室、職員室などがある建物
「屋内運動場」 体育館を表す。

耐震診断を要するのは、「旧耐震基準に適合」の建物に限ります。
「旧」 昭和56年以前に建築した校舎等で建築基準法上、旧耐震基準に適合したもの

RC 鉄筋コンクリート造のもの。
S 鉄骨造のもの。

耐震診断及び耐震化優先度調査の対象となる建物は、新耐震基準以前(昭和56年以前)に建築された2階建て以上又は床面積が200㎡を超える非木造建物です。

